

2024 年 1 月 9 日号

生成 AI の普及から今後の展望

1 分でわかる！

会社を成長させるための

桑原事務所メルマガ通信

あけましておめでとうございます。

桑原事務所の佐藤でございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私の担当しているシステム関連の話題として、昨年はなんといっても ChatGPT をはじめとした生成 AI の普及の年となりました。

ChatGPT が公開されたのがおとし 2022 年 11 月で、私がメルマガで初めて取り上げたのが 2023 年 3 月でした。

その後、マイクロソフト、グーグル、アマゾンなどのハイテク企業が、続々と生成 AI を開発・リリースし、その技術の飛躍的な進歩や市場の急速な拡大が起こりました。

またそれと同時に、情報漏洩やハルシネーション（事実に基づかない不正確な回答をしてしまうこと）、著作権侵害の問題などに対して、規制や行政命令等が出されたり、政府や各企業が生成 AI 利用についてのガイドラインを作成したりすることで、生成 AI と上手くつきあっていく方法を模索した年でもありました。

個人的に注目している最近のトピックとして、そのひとつ目は『Copilot in Windows』です。

前回 11 月の私のメルマガでご紹介したマイクロソフトのオフィスに「Microsoft 365 Copilot」が実装されましたが、それとは別に Windows に直接 Copilot が組み込まれました。

いきなりすべての PC に適用されるわけではなく順次拡大していくようですが、Windows から直接利用できることになることで、Windows の機能（設定など）にアクセスできたり、別にアプリを開かなくても素早く利用することが出来るようになり、生成 AI がこれまでより身近になりました。

それとトピックふたつ目は、ChatGPT の『GPTs』という機能です。

これは月額 20 ドルの有料サービス「ChatGPT Plus」のみで利用できる追加機能で、自分用の“カスタム版 GPT”をノーコードで（プログラムの知識がなくても）作成できるというものです。

これは簡単に言うと、事前に若干の質問に答えるだけで自分用の GPT を容易に作成し共有することが出来るもので、ChatGPT を業務に取り入れる際のハードルをより低くするものです。

2024 年はこういった新しい機能・技術がもっと進んで、生成 AI がより発展しさらに身近になっていくことは確実です。

これからは、これらの技術をうまく使いこなせるかどうか、その人の評価を高める一つの判断基準となるかもしれません。逆に言うと、生成 AI をうまく活用できないようでは、ライバルに出し抜かれてしまったり、さらには仕事ができなくなったりしてしまうような日が来るかもしれませんね。

いまのうちからいち早く情報収集をして、2024 年は生成 AI の『タツ人』になれるよう頑張っていきたいと思います！

ご不明点等ございましたら、お気軽に当事務所までご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

社会保険労務士法人桑原事務所

〒747-0064 山口県防府市高井 1143-1

TEL:0835-22-6706

FAX:0835-26-0023

MAIL: info@kuwasr.net
